

しみず
清水地区

面積：3.65km²
人口：23,015人（高齢化率 24.5%）
世帯数：12,947世帯

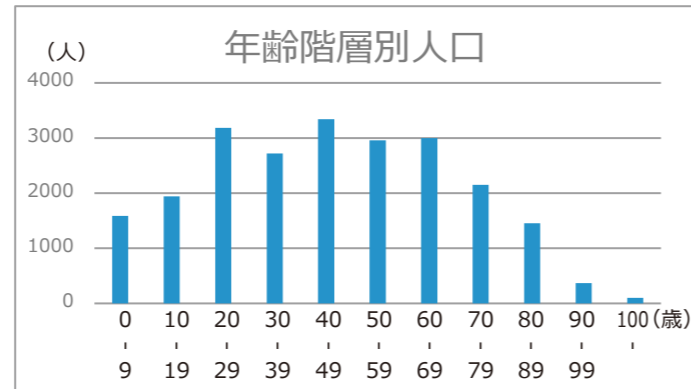


【地区の特色】

清水地区は、六つの小・中・高・大学がバランス良く配置された文教地区であり、加えて松山城の築城最高責任者であった足立重信の墓所、そして日露戦争で捕虜となったロシア兵を温かく迎えこの地で亡くなられた方を手厚く葬っているロシア兵墓地がある。放浪の俳人山頭火の終の住処となった一草庵を始め、由緒ある神社仏閣等の文化遺産も数多くあり、まさに躍動する新しい町と歴史の町がうまく融和し発展している地区である。



一草庵



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> いきがい交流センターしみずに拠点があるため民生委員・児童委員や地域包括支援センターとのつながりが強い 清水公民館や清水ふれあいセンターの催し物が多く地域の人に参加しやすい 小、中学生の登下校の見守りができている 各組織の協力体制ができている 自主防災意識が高い ・水がきれい ・災害が少ない ・ボランティア活動が活発 地域福祉サービス事業などの助け合い活動が盛ん ・大学生の地域行事への参加
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> 大学生が多いため地域住民とのつながりが少ない マンションも多く隣人との付き合いが少なくなっている 組織役員（町内会長等）の担い手不足 ・町内会の行事が少ない 空き家が多くなっている ゴミ出しルールが守られてない 坂が多い区域がある 交通の不便な区域がある ・東部、南部にはスーパーがない
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、独居高齢者の増加 → 住民の高齢化 短期居住者（大学生）との関係性が希薄 交通の不便な区域がある ・空き家問題 ・買い物に不便な地域がある 民生委員区域割りの検討 認知症高齢者の対応 ・見守りが必要な世帯の増加 子どもの減少 ・保育所の減少 ・移動スーパーの必要性が高まる 組織役員の担い手不足 ・ゴミ出しが難しくなる ・働く場所が少なくなる

清水地区社会福祉協議会

ささえ合う 福祉のまちや 清水の輪

<拠点> 松山市清水町3丁目15番地 清水小学校北校舎2階 TEL / FAX : 089-916-9179

構成団体	地区民協・町内会連合会・公民館・高齢クラブ連合会・女性防火クラブ PTA
主な取り組み	活動内容
ふれあい教室（9教室）	60歳以上の方を対象とした趣味活動の場であり、交流を通じて住民同士の助け合い活動に繋がっています。（コーラス、絵手紙、民謡、書道、太極拳、茶道、フラダンス、カラオケ、英会話）
地域住民と小学生との交流	一緒に給食を食べたり、もちつきや昔の遊びを“地域の名人”の高齢者に学んだりして小学校の各学年との交流を促しています。
福祉講座の開催	頭や身体を使った体操やワークショップを取り入れるなど、年2回テーマを話し合っ開催しており、福祉だよりにて周知啓発しています。

しみず祭（4月）

毎年4月の第3日曜日に清水小学校を会場として「しみず祭」が開催されています。ふれあい教室の発表やうどん、おはぎ、コーヒーなどの提供、高齢者と子どもたちによるステージ発表など関係団体・地域の皆さんのご協力もあり、毎年500名を超える来場者が交流を深めています。



<地区社協が目指すもの>

清水地区としては今後、少子高齢化・人口減少が進む中、「待ったなし」ととらえ、各種団体とも連携をとりながら、特に地区の弱みでもある町内会役員の高齢化や大学生・マンション住民との連携などを地域全体で真剣に考え、「歴史と文化と自然のまち清水」に住んでよかったと言える地域づくりを目指し、いきがい交流センターしみずに拠点を置く清水地区社会福祉協議会が地域のコミュニティの場となることを願います。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	48名 3名	■町内会・自治会・区長会等	87団体
	■まち協の設立	平成27年度	■高齢クラブ	5クラブ
			■子ども会	7団体
			■自主防災組織	36組織

小学校の余裕教室を活用した「いきがい交流センターしみず」を拠点とする清水地区社協では、学校との連携により各学年の授業に高齢者や地域住民等との交流を組み込みながら事業を展開し、地域で子どもを見守り育て、それに関わる高齢者のいきがいづくりの活動が実践されています。また、今後、人口減少や高齢者の単身世帯増加といった社会的背景を受け活動の停滞や縮小が見込まれる自治活動、特に防災・減災活動のあり方を考えるとき「大学生の住民層が多い」という現状は強力なマンパワー確保へと繋がる可能性を持つ地区といえるでしょう。文教地区である特徴を活かし小学生から大学まで途切れることがない「シームレス」な地域活動や文化活動を展開することにより、地域固有の知を活かして、地域住民が生活課題に一体となって取り組むことが期待できます。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

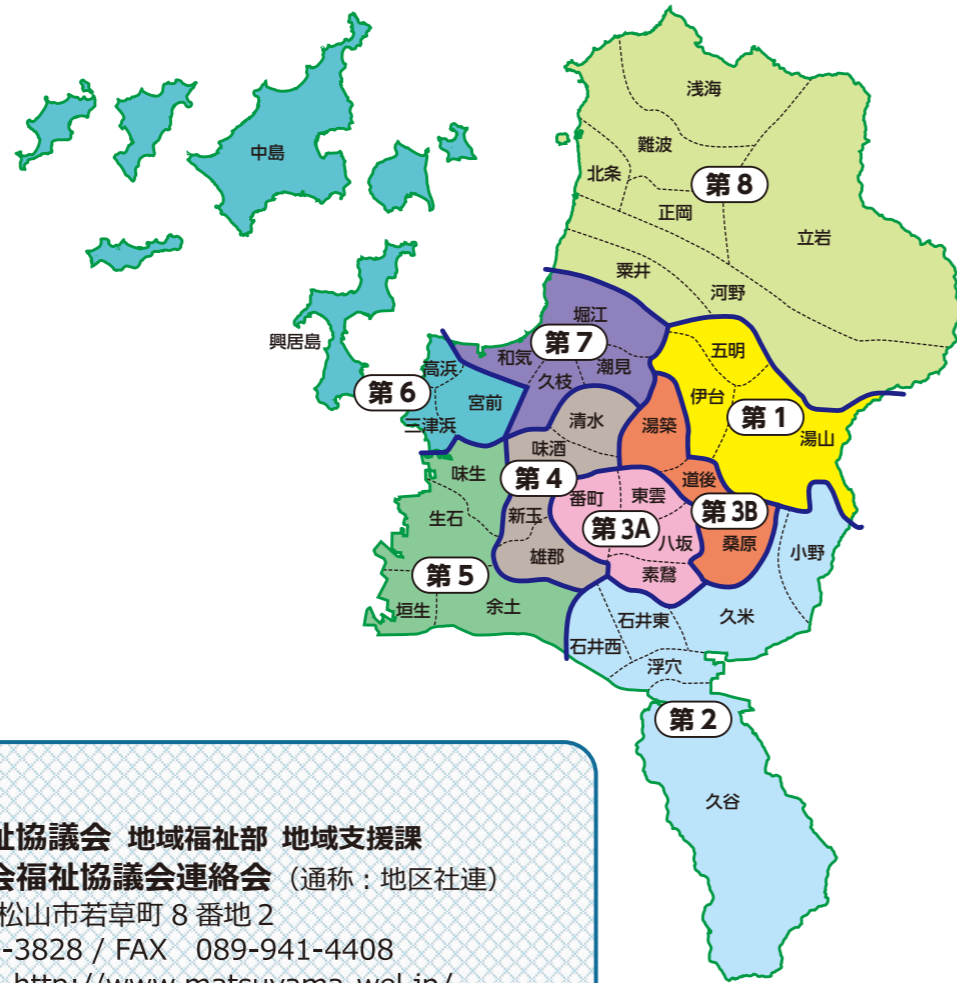
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏